

新刊『「満洲」へ渡った朝鮮人たち』（6月17日発売！）に関連して、以下のようなさまざまなイベントが開かれます。とくに写真展示展@高麗博物館は2週間限定です。（転送・拡散歓迎）

植民地期の中国東北＝「満洲」には、在日朝鮮人と同じく植民地支配に起因して、朝鮮半島から渡った朝鮮人数が200万人以上に達しました。今回は、「満洲国」期の関東軍や「満洲国」政府、朝鮮総督府の集団移民政策によって、「満洲」間島の荒地にして、抗日武装闘争の最前線に行かされた朝鮮人一世など600人を20年間にわたってインタビューと写真撮影をした李光平(リ・グァンピョン)さんが中国の延辺朝鮮族自治州より来日します。

李光平さんの写真展や新刊には、移民たちの生活、葛藤、抗いなどが生々しく描かれています。そのなかには、朝鮮人男性とは異なる移民体験をした朝鮮人女性、そして釜山から「満洲」の慰安所に行かされた元「慰安婦」被害女性も入っています。

なかなか見る機会のない写真展示展&イベントですので、ぜひともご参加ください。新刊も割引します！

1) 高麗博物館でのイベント

『植民地朝鮮から「満洲」へ渡った朝鮮人移民』写真展・講演会・連続歴史講座のご案内

下記のイベントはすべて@高麗博物館（最寄り駅：新大久保駅、大久保駅）

☆李光平(リ・グァンピョン)写真展： 予約必要なし

6月26日（水）～7月7日（日）12時～17時 ※7月1日（月）は休館日 2週間限定

☆李光平氏来日記念講演会

「〈在満〉朝鮮人の移動と生活を記録する～延辺地区フォトインタビュー調査 20年の経験から」:

6月29日（土）14:00～16:30 ※事前予約必要 03-5272-3510 司会・解説：中野敏男

☆連続歴史講座 第1回目：

7月2日（火）13:30～16:00 ※事前予約必要 03-5272-3510

①橋本雄一「万宝山事件と文学のことば～『満洲事変』前夜の中国東北・朝鮮・日本～」

②金雪梅 「“北間島”の詩人、尹東柱～植民地期中国東北・朝鮮そして日本をたどって読む～」

☆連続歴史講座 第2回目：

7月6日（土）13:30～16:00 ※事前予約必要 03-5272-3510

- ①飯倉江里衣「『満洲』における抗日運動と朝鮮人～『間島』の1919年3・13独立運動とその後～」
- ②金富子「植民地から『満洲』への朝鮮人移民史～『満洲国』期を中心に～」(映像上映あり)

2) 東京外国語大学でのイベント

○書評講演会

※事前申し込み不要、参加費無料、通訳あり

日時：6月30日（日）13:00～16:30

会場：東京外国語大学 海外事情研究所（講義棟427）

講演者：李光平（ドキュメンタリー写真家、龍井3.13記念事業会会長）

書評者：康成銀(朝鮮大学校朝鮮問題研究センター長)、

寺沢秀文(満蒙開拓平和記念館館長)

朴敬玉(一橋大学特任講師)、

主催：科学研究費補助金 基盤研究(B)「日本/朝鮮・中国東北からみた「満洲」の記憶と痕跡

～輻輳する民族・階級・ジェンダー～（課題番号：16H03325）」(代表者：金富子)

共催：海外事情研究所

3) 新刊本の内容

『「満洲」に渡った朝鮮人たち 写真でたどる記憶と痕跡』

李光平 写真・文

金富子 中野敏男 橋本雄一 飯倉江里衣 責任編集

2400円+税、世織書房

目次

はじめに—離郷の人生を語る姿と言葉

日本にとっての「満洲」、朝鮮にとっての「満洲」 中野敏男

◆「満洲」に渡った人びとのいま

集団移民の魂を探して数万里

—『「満洲」に渡った朝鮮人たち』刊行にあたって 李 光平（飯倉江里衣訳）

第1部 写真が語る朝鮮人集団移民と「満洲」

—李光平のオーラルヒストリー・ノート 写真・文 李 光平（翻訳・監修 金 富子・飯倉江里衣）

プロローグ 李光平 集団移民の調査へ

- 1章 移動 朝鮮から「満洲」へ
- 2章 土塁を築いての出発
- 3章 植民地政策としての集団農業移民
- 4章 対官憲・対植民地軍
- 5章 東北抗日聯軍との接触
- 6章 それぞれの家族と生活
- 7章 女性たち
- 8章 日本軍「慰安婦」
- 9章 ” 光復、後の新しい生活

第2部 背景を理解するために

「満洲国」期の朝鮮人移民と集団部落 孫 春日（金 富子訳）

植民地帝国日本と朝鮮人の移動 金 富子

移動という生存、抗い、円環—植民地空間をめぐる文学テキストたちを辿って 橋本雄一

間島における抗日闘争と日本の鎮圧政策—朝鮮人集団移民政策の背景 飯倉江里衣

コラム 写真から見る中国朝鮮族の若い世代からの民族史・個人史 朴 紅蓮

あとがき

参考文献

関連年表（朝鮮、「満洲」・中国を中心に）

【著編著者プロフィール】

●李 光平（リ グァンピョン）

ドキュメンタリー写真家、群衆文化専門副研究館員、龍井 3.13 記念事業会会長。編著に『中国朝鮮族民俗』（中国旅游出版社）、『写真で見る中国朝鮮族民俗写真』（延辺人民出版社）、『中国朝鮮族史料全集 歴史篇 移民史 11 卷』（延辺人民出版社）、『口述、延辺 65 年』（延辺人民出版社）など多数。

責任編集

●金 富子、中野敏男、橋本雄一、飯倉江里衣

執筆者

●孫 春日（ソン チュニル）

植民地期朝鮮人移民史研究。延辺大学人文科学学院教授。著書に『「満洲国」時期朝鮮人開拓民研究』（延辺大学出版社）など多数。

●朴 紅蓮（ボク コウレン）

ジェンダー論、寧波大学専任講師。著書に『中国の育児期女性と「良き母親」言語：都市部で働く「80 後」の高学歴女性を中心に』（吉林大学出版社）